

4	下水道局	お客さまの安全を守り、安心して快適な生活を支える施策																										
事業概要	<p>東京都の下水道管の総延長は、23区だけで東京とシドニーを往復する距離に相当する1万6千kmにも及ぶ。また、23区と多摩地域を合わせて20か所の水再生センターでは、日々、東京ドーム4.6杯分に相当する約570万m³の下水を処理している。</p> <p>しかし、初期に整備した下水道管や水再生センターなどは老朽化が進み、対策が必要となっている。同時に、増加する局地的な豪雨による浸水被害や、首都直下地震などへの対策も進めていかなければならない。</p> <p>このため、様々な施設整備を計画的かつ効率的に推進するとともに、道路陥没対策など予防保全を重視した維持管理を実施していくことで、都民の安全を守り、安心して快適な生活を支えていく。</p>																											
これまでの経過	<p>【再構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> アセットマネジメント手法を活用し、計画的かつ効率的に下水道管や水再生センターなどの再構築を推進 整備年代が古い都心4処理区の下水道管の再構築を令和11年度までに完了させるため、更生工法を引き続き活用して事業を着実に推進 水再生センターやポンプ所は、適切な維持管理により既存施設を最大限活用しつつ、機能向上が必要な施設から計画的に再構築を推進 <p>【浸水対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 浸水の危険性が高い対策促進地区などにおいて、1時間50ミリ降雨に対応する下水道施設の整備を実施 大規模地下街や甚大な被害が発生している地区について、整備水準をレベルアップして、1時間75ミリ降雨に対応する下水道施設の整備を実施 <p>【震災対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 下水道管の耐震化やマンホールの浮上抑制対策は、新たに指定された避難所や防災上重要な施設などを対象に加えて整備を推進 水再生センターやポンプ所では、想定される最大級の地震動に対し、震災後においても必ず確保すべき機能を維持するため、必要最低限の施設能力を確保する耐震対策を実施 停電など非常時の電力を確保するため、非常用発電設備の整備などを推進 																											
現在の進行状況	<p>【再構築】</p> <table border="1" data-bbox="320 1317 1444 1433"> <thead> <tr> <th>区部下水道事業の取組</th> <th>目標数値</th> <th>平成30年度末</th> <th>令和元年度末（見込）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一期再構築エリアのうち、下水道管の再構築が完了した面積の割合</td> <td>16,300ha</td> <td>53%</td> <td>58%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の主な内容（見込） 下水道管の再構築 727ha 実施 <p>【浸水対策】</p> <table border="1" data-bbox="320 1509 1310 1590"> <thead> <tr> <th>区部下水道事業の取組</th> <th>目標数値</th> <th>平成30年度末</th> <th>令和元年度末（見込）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下水道50mm浸水解消率</td> <td>56,300ha</td> <td>70%</td> <td>70%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の主な内容（見込） 杉並区荻窪地区など <p>【震災対策】</p> <p>排水を受け入れる下水道管を耐震化した施設数</p> <table border="1" data-bbox="320 1704 1463 1821"> <thead> <tr> <th>区部下水道事業の取組</th> <th>単位</th> <th>目標数値</th> <th>平成30年度末</th> <th>令和元年度末（見込）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排水を受け入れる下水道管を耐震化した施設数</td> <td>か所</td> <td>4,633</td> <td>3,915</td> <td>4,111</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の主な内容（見込） 196か所実施 		区部下水道事業の取組	目標数値	平成30年度末	令和元年度末（見込）	第一期再構築エリアのうち、下水道管の再構築が完了した面積の割合	16,300ha	53%	58%	区部下水道事業の取組	目標数値	平成30年度末	令和元年度末（見込）	下水道50mm浸水解消率	56,300ha	70%	70%	区部下水道事業の取組	単位	目標数値	平成30年度末	令和元年度末（見込）	排水を受け入れる下水道管を耐震化した施設数	か所	4,633	3,915	4,111
区部下水道事業の取組	目標数値	平成30年度末	令和元年度末（見込）																									
第一期再構築エリアのうち、下水道管の再構築が完了した面積の割合	16,300ha	53%	58%																									
区部下水道事業の取組	目標数値	平成30年度末	令和元年度末（見込）																									
下水道50mm浸水解消率	56,300ha	70%	70%																									
区部下水道事業の取組	単位	目標数値	平成30年度末	令和元年度末（見込）																								
排水を受け入れる下水道管を耐震化した施設数	か所	4,633	3,915	4,111																								
見通し	各施策の事業については、経営計画2016に基づき引き続き着実に推進していく。																											
問い合わせ先	下水道局 計画調整部 事業調整課	電話 03-5320-6597																										